

令和7年度 愛媛大学社会共創学部
〔一般選抜試験前期日程〕 小論文

1

【出題意図】

地球温暖化や環境破壊、差別、紛争など、現代のさまざまなやっかいな問題とその性質について議論した書籍の内容を基に、やっかいな問題の解決のための視点を問うています。

高校生レベルの一般常識、図表を含む資料の読解力、論点を絞って文章をまとめる能力、地域課題の解決への関心の高さ、以上の4点を評価することを意図しています。

【解答例および出題意図】

問1（解答例）

現在の日本は、人口減少や高齢化の問題から、生産力の低下、社会保障制度の破綻、地方の衰退、格差の拡大など、さまざまな社会課題を抱える。これらは人口が増大から減少に転じた際に多くの国が向き合う課題であり、当該課題を先取りしているといえるため。

（119文字）

問2（出題意図）

「助ける人」と「助けを必要とする人」の関わる適切な例を選定し、その共助の内容について記述する問題である。自分の経験や知識も活用しながら、自らの考えを字数内に文章化して表現する能力を問うている。

問3（出題意図）

自身が考える「やっかいな問題」を取り上げ、その問題が有する特徴をコラム1から適切に選定するとともに、その特徴を有している理由について記述する問題である。自分の経験や知識も活用しながら、自らの考えを字数内に文章化して表現する能力を問うている。

問4（出題意図）

やっかいな問題の解決には、多様なステークホルダーが関わり、それぞれの立場の違いを乗り越えた共創による解決が求められる。この共創の視点から判断し解決策を立案する能力、自らの考えを論理的に字数内に文章化して表現する能力などを問うている。